

4 指導法改善のポイント

国語【小学校第6学年】

正答の状況

年度		平成29年度		平成28年度	
種別		国語A	国語B	国語A	国語B
平均 正答数	県	11.3問/15問	5.0問/9問	10.8問/15問	5.7問/10問
	全国	11.2問/15問	5.2問/9問	10.9問/15問	5.8問/10問
平均 正答率	県	75%	55%	72%	57%
	全国	75%	58%	73%	58%

今回の調査結果から明らかになった成果と課題

- 成果1<A問題> 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと
- ▲課題1<A問題> 手紙の構成を理解し、後付けを書くこと
- ▲課題2<B問題> 話の構成を工夫して話したり、聞き手の反応を見て話したりすることなどスピーチメモのよさを捉えること

成果が見られた問題の概要例

○成果1<A問題> 設問番号 **2** ー

【設問の概要】
 歴史資料館でお世話になったお礼の気持ちを伝えるために、お礼の気持ちを伝える内容の説明と適切な内容の選りすぐりをする。

【平均正答率 (%)】

	本県	全国	差	自校
2 ー	81	80	+1	

【言語活動との関連】
 [第3学年及び第4学年]
 B 書くこと
 エ 目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書くこと

2

松本さんは、昔の人々のくらしに興味を持ち、学校の近くにある歴史資料館へ行きました。その後、お世話になった資料館の山村さんへ、お礼の手紙を書いています。次の「山村さんへの手紙」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【山村さんへの手紙】

緑が美しい季節となりました。先日はお礼をありがとうございました。歴史資料館を案内していただき、ありがとうございました。実際に資料館を見学することで、昔の人々のくらしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってあらうと、せんたく機だけでは落ちないような汚れがこれだけでびっくりました。また、よこれを使えば、その間に他の仕事をすることもできます。昔はせんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくをしていたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよとこや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたいくなりました。これからも、いろいろなことをわたしたちに教えてください。

ー 松本さんは、「山村さんへの手紙」の でのようなことを書いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 見学をして興味をもったことについて、本で調べたことを書いています。

2 **今ど昔の生活のちがいで、体験して気づいたことを書いています。**

3 山村さんの話の中で、「一番心に残ったこと」を書いてあります。

4 見学をして新たに疑問に思ったことを書いています。

ウ

ア

イ

- 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして書くことができている。
- 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。
- お礼状を書く学習では、感謝の気持ちを表すと共に、体験を通して感じたことや分かったこと、さらに疑問に思ったことなどを具体的に書く指導が必要である。本問題では、実感したことや見学を通して分かったことの内容に気付くことが必要である。

課題が見られた問題の概要＜A問題＞

▲課題1＜A問題＞

設問番号 2 二

【設問の概要】

手紙の後付けに必要な，日付，署名，宛て名のそれぞれの位置について，適切なものを選択する。

【平均正答率（%）】

		本県	全国	差	自校
2	一	41	42	-1	

【言語活動との関連】

〔第3学年及び第4学年〕

- B 書くこと
- エ 目的に合わせて依頼状，案内状，礼状などの手紙を書くこと

問題点とその改善点＜A問題＞

4

3 ア 相手の名前
イ 相手の名前
ウ 相手の名前

2 ア 日付
イ 相手の名前
ウ 相手の名前

1 ア 自分の名前
イ 日付
ウ 相手の名前

2

二 松本さんは、昔の人のくらしに興味をもち、学校の近くにある歴史資料館へ行き、その後お世話になった資料館の山村さんに、お礼の手紙を書いていました。次の「山村さんへの手紙」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【山村さんへの手紙】

緑が美しい季節となりました。先日はお礼の手紙が届きました。ありがとうございます。実際に資料館を見学することで、昔の人のくらしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってあらうと、せんたく機だけでは落ちないような汚れがきれいに落ちたのでびっくりしました。また、これを落とすには時間がかかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんたくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、せんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくをすることが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたいと思います。これからも、いろいろなことをわたしたちに教えてください。

〈誤答傾向〉

正答	選 択 肢	類型 (%)
	1 と解答しているもの	8
	2 と解答しているもの	21
	3 と解答しているもの	29
◎	4 と解答しているもの	41
	上記以外の解答	2
	無解答	0

(類型は小数第1位を四捨五入したため、類型の合計が100に成らないこともある。)

- 正答率は41%であり、手紙の構成を理解し、後付けを書くことに課題がある。
- 5割の児童が選択した解答類型2及び3は、自分の名前を「ウ」に記入するものである。自分の名前は最後に書くものであると誤って理解していることが予想される。
- 本問題にあるように「相手の名前」を上の方に書くことは、日本語の表記上の特徴として相手への敬意を示すことである。形式であってもその背景にある意味を理解させることが重要である。また、5年生の「敬語」の学習と関連付けて再指導することも、定着のための工夫として考えられる。



コラム① 「大学入試改革から見えること」

文部科学省によると、2020年からセンター試験が変わります。具体的には、従来のマークシート方式に記述式の問題が導入されることや、英語の4技能を評価する問題が検討されています。現在の中学3年生が、新しい入試の第1期生です。この大学入試改革は、思考力、判断力、表現力等の学習指導要領が求める学力が身に付いているかを測るための入試としていくこともねらいとしています。全国学力・学習状況調査も同様に、学習指導要領が求める学力の定着を測るものであり、この共通点に着目しておきたいところです。

例えば、独立行政法人大学入試センターから示された新テストの記述式問題のイメージは、「駐車場使用契約書」に関する問題で、高校の学習指導要領「国語総合」に基づいて出題されていました。その内容は契約書の中から必要な情報を目的に応じて抜き出し、その情報を根拠にしながら明確に自分の意見を述べるものでした。小中学生が、国語科の学習の中で行っている「叙述に基づいて情報を整理し、根拠を明らかにして表現する活動」の延長にある問題のように思います。

こうした変化も把握し、私たちは日々の授業の中で、子供たちが教科書教材の内容的価値を理解できることのみではなく、学習指導要領で求められる言語能力を身に付けることができたかどうかを常に意識して学力の定着を図っていかねばなりません。子供たちの将来の学力を見通して、目の前にいる子供たちの学力定着を私たちの責務として考えていきましょう。

課題が見られた問題の概要，問題点とその改善点，授業づくりのポイント<B問題>

課題が見られた問題の概要<B問題>

【設問の概要】

グループの話合いの中で、石田さんたちは、スピーチメモを使うことのよさについてどのように考えているかについて書く。

【平均正答率 (%)】

1 二	本県	全国	差	自校
	63	69	-6	

【言語活動との関連】

〔第5学年及び第6学年〕

A 話すこと・聞くこと
ア 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること

▲課題3<B問題>

設問番号 1 二

「グループの話合いの様子」

二 石田さんたちは、グループの話合いの中で、スピーチメモを使うことについてどのように考えていますか。「グループの話合いの様子」の言葉を使って、四十文字以内で書きましょう。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても構いません。解答は、解答用紙に書きましょう。◆の印から書きましょう。どちらの手で行き交さないで、続けて書きましょう。

北川 石田さんのスピーチ、よかったね。

上野 表情がとても明るくて、折り紙のことを伝えたいっていう気持ちが伝わってきたよ。

北川 表物の「つる」を見せているのも、分かりやすかったね。それと、今回スピーチメモを使ってみてどうだったかな。

上野 スピーチメモを使って話のまとまりと順序を意識して話すことはできたかな。

石田 うん、できていたと思うよ。それに、必要ときにだけメモを見ればよかったから、相手の反応を見て話すこともできたと思う。

北川 確かできていたね。他に気をつけたことはあるかな。

石田 全体的に早口になっていたように思うので、そこを直したいな。

北川 そうだったかな。動画を見てみよう。

5 (動画を見る) 5

上野 そうだね。日本語を勉強している外国の人にとっては早口かもしれないね。

北川 それから、石田さんが一番伝えたいことが伝わるかどうかが大事だよな。

石田 私は、折り紙のふりよきを一番伝えたいな。

北川 それなら、折り紙のふりよきをもっとたくさん伝えたい方がいいんじゃないかな。

上野 折り紙のふりよきは、どこでも手軽にできることだと思うよ。

北川 ぼくは、紙一枚から立体的な形ができるということがふりよきだと思うな。

北川 「手裏剣」のように、組み合わせて形をつなげられることもふりよきだよな。

石田 折り紙のふりよきはいろいろあるんだね。みんなの意見を参考に、もう一度考えてみるね。

〈誤答傾向〉

正答	解答類型	類型 (%)
	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 次の a, b の両方またはどちらか一方を使って書いている。 a 「話のまとまりと順序を意識して話す」 b 「相手の反応を見て話す」 ② 40字以内で書いている。 〈正答例〉 話のまとまりと順序を意識して話したり、相手の反応を見て話したりすることができる。(40字)	
◎	条件①, ②を満たしているもののうち、条件①については、a, b の両方を使って書いているもの	8
◎	条件①, ②を満たしているもののうち、条件①については、a のみを使って書いているもの	28
◎	条件①, ②を満たしているもののうち、条件①については、b のみを使って書いているもの	28
	上記以外の解答	35
	無解答	2

問題点とその改善点<B問題>

- 条件① a, b のいずれか一方だけでも正答ではあるが、a, b ともに満たしている児童は8%にとどまっている。
- 目的や意図に応じて事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫したり、相手の反応を見ながら話したりすることができるように指導する。

【再度チェックを!!】

解答類型にあるように3通りの正答が用意されている。条件 a, b を使っているもの、条件 a だけを使っているもの、条件 b だけを使っているもの、どれも正答ではあるが、条件 a, b の両方を使えるようにするためには、石田さんの発言に注意したい。「うん、できていたと思うよ。それに、必要ときにだけメモを見ればよかったから、相手の反応を見て話すこともできたと思う。」「それに」という接続語が果たす役割や「も」のもつ意味について考えると、果たして条件一つで解答されるものであったのか再考したい。

接続語や助詞の働きは文章の論理的な関係を構築する上で大切な役割を果たしている。児童自身が、学習や生活の中で、言葉の働きを大切にしながら話したり聞いたり読んだり書いたりする活動が行われるよう指導していきたい。